



小川町議会だよりは

キャプション(写真説明)に「ダブル」

単なる説明ではありません。応援や問題提起など「魂」を込めてお伝えします。

つづく!

Q 南北出口を結ぶ自由通路は「どのような設計」か。
A 都市政策課長 駅南口のコンビニ北側付近と小川高校体育館西側を結ぶ自由通路です。改札口は橋上駅化工し、自由通路からアクセス可能な設計です。
Q どのような駅北側整備を計画しているのか。
A 都市政策課長 町道5090線(小川高校南側の道路)は2車線に拡幅し、歩道を整備する予定です。体育館西側にバスの乗り入れが可能なロータリーを整備する計画です。
Q ダイヤの改正を危惧するが、小川町駅の乗降客数の推移は。
A 都市政策課長 1日当たりの乗降客数は2018年で98999人、2022年で77599人です。



「志あるところ道は必ずひらける」



駅北側整備
 とどまっている事業の推進は
 答弁 諦めることなく取り組んでいきます

Q 国費率40%の男衾駅周辺整備を参考に「小川町復活」へ向けた駅北側整備を直ちに仕掛けるべきではないか。
A 町長 課題だった公共施設の方向性を具現化する時期にきており、調査研究費等の予算化は考えていませんが、諦めることなく取り組んでいきます。

Q パトリアの浴室・プールの休止は「介護予防・健康増進に取り組める施設に転換する」と説明してきたが。
A 長生き支援課長 転換については、現在取り組んでいる事業の進捗や施設自体の老朽化への対応、町の財政状況などの観点を踏まえ、どのようにすべきかを十分に考える必要があると認識しています。
Q 総合福祉センター運営懇話会では、どのような話し合いがあったのか。
A 長生き支援課長 「障害者や高齢者もできる軽トレーニング施設」「多世代が交流できるスペース」「災害時に必要な備蓄品倉庫」等の意見がありました。
Q 大規模な設備の更新と多額の予算確保が必要との答弁だが、公



施設転換を待つ旧プール側

◆その他の質問
 障害者の就労支援
Q 共施設の集約化等を図る中でパトリアの大規模改修が必要と考えるが。
A 町長 道の駅・学校再編・学校給食センター・リリック大ホール等の課題の方向性について動いています。パトリアの施設転換に取りかかれる状況ではありません。



パトリア
 浴室・プールの施設転換は
 答弁 施設転換に取りかかる状況ではありません

夢の実現のため、話せる英会話教育をしてください。(I・Kさん 12歳)

YouTubeとか動画での発信にもチャレンジしてほしいな。(O・Jさん 36歳)

Q 総務省ホームページにある決算カードを見ると過去21年にわたって、当町の実質単年度収支が赤字基調であるが。
A 政策推進課長 決算カードは、全国の地方公共団体の決算概要について公表したものです。基金の積立や地方債の繰り上げ償還など未来に影響を及ぼす要素を除いて実質的な単年度の収支を表した数字です。その分を含めて計算すると過去21年間で、赤字は11回、黒字は10回となります。健全化判断比率②から見ると、当町は健全化が必要な団体には該当しません。
道の駅リニューアル
Q 道の駅おがわまち再整備基本計画では、30分商圏(ミニ観光商圏)を約33・4万人と見込んでい



環境に配慮した移動手段を検討(周辺整備)

る。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないかと。
A にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その都度、管理運営事業者と適切に対応します。



赤字決算
 実質単年度収支が赤字では
 答弁 健全化が必要な団体には該当しません

Q ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。
A 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じて考えていきます。
Q 木質バイオマスセンターの開設は、どこまで進んでいるか。
A 環境農林課長 木質バイオマスセンター開設の実現に向け、月1回ほど、事業者と意見交換を進めていると見えています。
給食費の無償化
Q 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。



住民が出資し合って作った発電所

A 町長ほか 無償化には7000万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食料費は保護者負担をお願いしているところです。
 また、町村間の競争になってもいけないので、町村会としても、県に要望書を出し無償化を求めていきます。



脱炭素化
 エネルギーの地産地消を
 答弁 チームを作って取り組んでいます

それぞれの持ち味を發揮できる「チーム小川町議会」!!(S・Nさん 62歳)

議会に新風を!! 有言実行・公約達成を期待します。(O・Yさん 77歳)

子供たちが住みやすい町、住み続けたいと思える町づくりを。(O・Nさん 39歳)